

# 6月村議会定例会

村議会定例会が6月5日に開かれ、条例改正等4議案が審議され、いずれの議案も原案どおり可決されました。

## 条例改正等

◆東秩父村公共物管理条例の一部を改正する条例

(内容) 当条例の施行に關し必要な事項の規則を定めるために行うものです。

◆東秩父村合併処理浄化槽の設置及び管理等に關する条例の一部を改正する条例

(内容) 行政区等、地域が管理している集会所に設置する合併処理浄化槽の分担金について、専用住宅と同額にするものです。

◆工事請負契約の締結について

(内容) 東秩父中学校校舎内装木質化・アスベスト除去工事の請負契約を中里建設株式会社と締結するものです。

## 人事案件

◆東秩父村教育委員会委員の任命について

(内容) 委員の井上フサ子氏(皆谷)が平成25年8月19日をもって任期満了となるため、新たに保泉眞理子氏(坂本)を任命するものです。

## 一般質問

高野 眞宜議員

質問 細川紙のユネスコ無形文化遺産候補の提案に対する村としての準備について

①ユネスコの審査内容と登録される可能性について

答弁 審査は、「細川紙」と、すでに認定済みの「石州半紙」(島根県)および情報照会済みの「本美濃紙」(岐阜県)の3団体をグループピング化した「和紙・日本の手漉和紙技術」として行われます。3団体の理解・協力により登録条件に合致する可能性があります。なお、登録される最終決定は、平成26年11月頃の見込みです。

②細川紙技術後継者の育成サポートについて

答弁 細川紙技術者協会は正会員14名、準会員9名、研修生5名が技術保存並びに後継者育成に取り組んでいます。村所有の家屋で後継者養成の拠点として活動しており、今後もサポートしてまいります。

③登録後、和紙の里来場者の対応や今後の事業展開について

答弁 お客様に対して施設案内や説明等サービスが低下しないよう従業員の増加を視野にいれ、また、文化遺産にちなんだ物の開発により、入込客・売り上げの増加につなげたいと考えます。

質問 安戸ゴルフ場跡地の再開発・再利用その後の展開について

(内容) 再開発を何社かに打診されたようだが、それらの会社の判断が聞きたい。また、今後のプロジェクトチームの編成における村の考えについて

答弁 村に直接調査の申入れがありましたのは6社です。多くの課題があり結論に至らないのが現状です。プロジェクトチームについては、様々な問題を共有し、村、村民にとつてどの方向が良いか、各方面からのご意見をお聞かせいただき方向づけしていきたいと考えています。

質問①空き家対策について

(内容) 近隣では、空き家バンクなる制度で空き家の再利用をし、定住者を募集して人口減対策を実施しているが、村の空き家に対する考えを伺いたい。

答弁 空き家の数、率について  
居住の実態がないと思われるものを拾い上げたものです。安戸22戸、8%、御堂13戸、6

・5%、奥沢10戸、10%、坂本25戸、12%、大内沢7戸、5・3%、皆谷14戸、9・3%、白石8戸、17%、村全体99戸、8・9%です。

②村で空き家バンク同様の事業を実施する予定があるのか。

答弁 本村においても導入を検討しています。今後は、要綱の案を再度検討、各関係機関と提携し、計画を進めて行きます。これにより、若者の定住促進、地域活性化を目指します。

③空き家所有者に対して、管理を促す方策について

答弁 通報等があった場合は所有者に対し口頭や文書でお願いし、その方法で対応できなくなつた時点で条例制定を検討していきたいと考えています。

福島 重次議員

質問 消防団員の確保について

(内容) 村の施策で適齢者の消防団員を確保する手立てがないか。

答弁 広報に消防団を積極的に掲載し、身近な組織と感じてもらえるよう努力したいと考えます。なお、消防活動は常に危険を伴うため、団員の負担をできる限り軽減し、装備も含め充実していきたいと考えています。

質問 村長の施政方針について

業にどのように反映されているか。また、あわせて職員の配置についても伺いたい。

答弁 公約に掲げました政策ビジョンを今後就任期間中に、財政状況等をふまえ、皆さまのご意見を伺いながら達成してまいりたいと考えているところで、村長の給与30%カット、保育園で1歳児受入れ、小中学校給食費助成、インフルエンザほか予防接種事業、交通災害共済掛金無料化事業を行っております。若者の定住促進はゴルフ場跡地に企業誘致をし、雇用促進が図ればと考えています。廃校施設の有効活用は消防分署の整備を含めた計画を地元や関係団体の意見を伺いながら進めていきたいと考えています。お年寄りにやさしい村は各種福祉制度や介護制度サービスの実施、民生委員の訪問活動を通じ調査を行っています。また、元氣なお年寄りがいつまでも長く健康維持ができるよう健康づくり・介護予防事業を実施しています。防災に強い村づくりは防災情報音声告知システム構築・タブレット情報配信システム構築業務委託を予定しており、この事業が完成すれば安心安全な防災システムが構築されます。人事異動の職員配置については、年齢差が